

永田小通信

2021. 11. 5号

5年タグラグビー教室。



まず、体育館で「横浜キャノンイーグルス」の橋野様（元セブンス日本代表）から、ラグビーについて説明がありました。その中で「自分の好きを大切にしよう！」という、ご自身の体験に基づいた熱い思いを子どもたちに伝えていただきました。子どもとのやり取りも軽妙で、みんな楽しく学ぶことができました。

11月4日（木）、5年生のタグラグビー教室を行いました。その様子をお伝えします。



体育館での講演の後は、いよいよ実技です。楽しい準備運動の後、県ラグビーフットボール協会の方がジャッジしてくださりタグラグビーのゲームが始まりました。相手は横浜キャノンイーグルスとYOKOHAMA TKM（女子ラグビーチーム）の合同チームです！



初めは緊張していた子どもたちですが、すぐにタグラグビーの楽しさを感じ、ゲームに熱中しました。見ている友達からの「ナイストライ」「前へ走って！」などの応援もボルテージが高まっていきます。担任の先生方も熱くなり、大人チームに入り子どもとのゲームに参加しました。ゲーム後の子どもたちからは、「おもしろかった!」「タグラグビーを早く体育で早くやりたい!」「ラグビーを好きになった!」など、多くの喜びの声があがりました。このような本物に触れる機会を与えてくださった市民局スポーツ振興課の皆様、横浜キャノンイーグルスの皆様、YOKOHAMA TKMの皆様、そして県ラグビーフットボール協会の皆様、本当にありがとうございました。One for all. All for one.など、子どもに体感してほしいことがたくさんあるラグビー!今日の体験を通して、あらためてラグビーという競技の素晴らしさを実感できました。